

seeing
sound,
hearing
time

Ryuichi Sakamoto

BABBI

ピスタチオ

オリジナルパッケージ ワッフェリーニ

坂本龍一は元々ウェハースが好きだった。ウェハースが添えてあるアイスクリームには目がなかったし、イタリアのスーパーでツアーの合間に買ったりして…。ある日、何かの雑誌で「BABBIのピスタチオが絶品」と何方かが話していると聞き及んだマネージャーが差し入れしBABBIのウェハースにハマる。それ以来、自分で食べるだけでなく「手土産に下さい」と何箱買ったことか。というわけで、今回、BABBIさんにコラボレーションのご相談をさせていただきました。



seeing
sound,
hearing
time

Ryuichi Sakamoto

BABBI

バニラ

オリジナルパッケージ ワッフェリーニ

坂本龍一は元々ウェハースが好きだった。ウェハースが添えてあるアイスクリームには目がなかったし、イタリアのスーパーでツアーの合間に買ったりして…。ある日、何かの雑誌で「BABBIのピスタチオが絶品」と何方かが話していると聞き及んだマネージャーが差し入れしBABBIのウェハースにハマる。それ以来、自分で食べるだけでなく「手土産に下さい」と何箱買ったことか。というわけで、今回、BABBIさんにコラボレーションのご相談をさせていただきました。



seeing
sound,
hearing
time

Ryuichi Sakamoto

坂本図書

『坂本図書』は、ある人の心を動かした「本」という文化資本を共有するための事業です。

2017年より坂本氏自らが実現に向けて動き始め、2023年9月に、都内某所にて坂本龍一氏の所蔵の本を読むことができる図書空間「坂本図書」を始めました。小さなスペースのため、完全予約制で、場所は非公開で運営しています。

今回は、展覧会限定ver.の坂本図書オリジナルグッズに加え、普段は図書空間「坂本図書」でのみ販売しているグッズも特別に販売します。



<https://www.sakamoto-library.com/>

seeing
sound,
hearing
time

Ryuichi Sakamoto

FUGLEN COFFEE ROASTERS

コーヒー好きの坂本龍一が「日本で好きなのはここのコーヒー」と言っていたフグレンのコーヒー豆。オスロのお店にも何度も足を運びました。坂本が愛したブリコラージュも豆はフグレンです。

Fuglen coffee beans, which coffee-loving Ryuichi Sakamoto said were 'my favorite coffee in Japan.' He also visited the Oslo shop several times. The coffee beans used at Bricolage, a place Sakamoto loved, are also from Fuglen.



seeing
sound,
hearing
time

Ryuichi Sakamoto

EN TEA

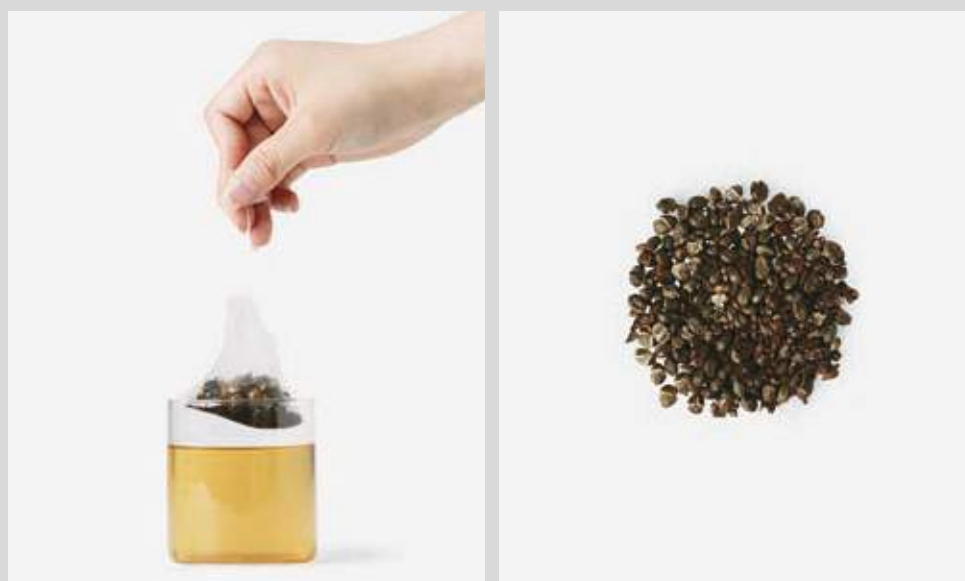
麦茶

日本の風土、生活の中で愛される麦茶。当たり前にある日常の茶に私たちは「情緒」を感じます。童心に戻りその魅力を細かなところまで見つめ掘り下げました。美しい琥珀色と穀物のほのかな焙煎香、ゆっくりと広がる余韻の甘みをお楽しみください。

—— 淹れ方

冷 —— 冷水 500cc 冷蔵庫内で3時間抽出

温 —— 熱湯 250cc 3分間抽出



※250ccは大きめのマグカップ、150ccは湯呑み一杯分がそれぞれ目安となります。

※新鮮な風味をお楽しみ頂くため、お早めにお召し上がりください。

seeing
sound,
hearing
time

Ryuichi Sakamoto

EN TEA

古式緑茶

茶を飲むひとは、移ろう日々に関わり合う「余白」を与えてくれます。豊かになるのではなく、豊かさに気付かせてくれる。そんな茶を思い描き生まれました。自然がもたらす深みある緑と芳醇な味わい、そして漂い染み渡る香りをご賞味ください。

—— 淹れ方

熱湯 250cc 90秒間抽出



※250ccは大きめのマグカップ、150ccは湯呑み一杯分がそれぞれ目安となります。

※新鮮な風味をお楽しみ頂くため、お早めにお召し上がりください。

seeing
sound,
hearing
time

Ryuichi Sakamoto

EN TEA

月を聴く

月の暦は古より茶を育てる際、大切な道しるべとなってきました。また月の移ろう姿は、EN TEA が大切にしてきた「静寂」を象徴する存在です。日々、空を眺め月を感じ茶と触れ合ってきた私たちに、折々に寄り添ってくれた坂本さんの音楽に思いを込めて作らせて頂きました。『月を聴く』は夜空に浮かぶ満月そして新月、それぞれの美しさを、飲み方によって異なる香り、色合い、味とで楽しんで頂けるように仕上げました。

—— 淹れ方

満月 —— 熱湯 250cc 60秒間抽出

新月 —— 冷水 150cc 15分間抽出



※250ccは大きめのマグカップ、150ccは湯呑み一杯分がそれぞれ目安となります。

※新鮮な風味をお楽しみ頂くため、お早めにお召し上がりください。

seeing
sound,
hearing
time

Ryuichi Sakamoto

MiiR ボトル

90年代初頭から環境問題への関心を高めていた坂本龍一。「まずは自分の足下から」とCDのパッケージを環境負荷のかからないものに変えるなどの取り組みとともに、プライベートでは「マイ箸」「マイボトル」を持ち歩くようになりました。特に2014年、最初のがんに罹患して以降は水分補給が欠かせなくなり、愛用したのが「MiiR」の保温・保冷ボトル。無駄のないすっきりとしたデザインに広い飲み口、十分な容量を備え、お気に入りのEN TEAのお茶はもちろん、レモンをたっぷり入れた自家製レモン水まで、様々な飲み物を入れて持ち歩きました。ハンドル付きの蓋は、楽譜を抱えて両手がふさがったスタジオ内の移動でも指に引っかけて持ち運べる便利な設計で重宝しました。自宅内でもスタジオ作業時には持ち運んでいたほど坂本の日常に欠かせないアイテムの一つでした。

Since the early 1990s, Ryuichi Sakamoto had grown increasingly aware of environmental issues. Starting with small personal changes, he shifted to eco-friendly CD packaging and began carrying his own chopsticks and water bottle. In 2014, after his first cancer diagnosis, staying hydrated became essential, and he found his ideal companion in the MiiR insulated bottle. With its clean, minimalist design, wide mouth, and generous capacity, this bottle became his constant companion, carrying everything from his favorite EN TEA to homemade lemon water brimming with fresh citrus. The handle-equipped lid proved invaluable during studio sessions, allowing him to carry the bottle with just a finger while his hands were full of sheet music. This bottle became such an integral part of his daily routine that he carried it even while working in his home studio, truly one of his most cherished everyday items.



seeing
sound,
hearing
time

Ryuichi Sakamoto

EN TEA

お茶ほし地獄

日本茶が好きすぎる坂本龍一がしょっちゅう口にしていた言葉です。「狂ったようにお茶が飲みたい」という渴望をあらわしていたのでしょう。大切な友人の紹介で出会った、EN TEAの丸若さんにお伝えしたら爆笑しつつ、とてもよろこんでくださいました。包丁は持てない坂本でしたが、お茶だけは必ず自分でいれました。自宅では急須をつかって大切な茶碗に、ツアーや入院の際には何はなくとも日本茶のティーバッグとマグカップを持参しました。EN TEAさんのものはパッケージも美しく、そして何よりお茶の味が気に入って欠かせないアイテムに。「自分が好きなものをおすそわけしたい」と、手土産やギフトもたくさん注文することになりました。今回、坂本にとってのマスト・アイテム『古式緑茶』と、初めて飲んだ時に「なにこれ、ウマ！もっと買って」と言った『麦茶』、そして残念ながら坂本が試すことができなかった、坂本のために焙煎された『月を聴く』をパッケージしました。お楽しみくださいませ。

